

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ごーでんえっぐ伏古		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・他の事業所にはないくらい活動スペースに十分な広さがあり、運動活動をするのに適しています。	・広いスペースを活動して同じ空間で学年別や体力別で活動を行う事が出来、また、互いに次のステップへすすみたいと切磋琢磨して運動に取り組む事が出来ます。	・保護者様には、1日の様子や活動についてお伝えはしているものの、運動活動の様子を直に見ていただくなどの機会を設けられるようにしたいと思います。
2	・季節を感じられるイベントや子ども達が楽しく参加しながら身体も心も成長出来るような活動プログラムの提供をしています。	・月間予定表を事前配布し、ご家庭で保護者様と児童で活動プログラムの確認をしていただけるようにしています。基本の通所曜日は決まっていますが、自分自身でプログラムを確認し自分の意思で通所する日を確認する事が出来るようにしています。	・自分で考えて自分自身で選んで決定していく力をつける事で、今後の生活していく中でも自己決定してすすんでいけるようにしたいです。
3	・年上、年下、同じ年の子どもたちの中で過ごす事で、気持ちの面での成長が感じられるようになったとの声があります。	・グループでの活動では、役割をあたえたり互いの関係性をみて分ける事で、年下の面倒を見たり上級生の姿を真似たりし、自然と縦割りの関係性が出来上がり、学年があがると自分も年下の子を助けよう、してあげようという気持ちが育つようにしています。	・保護者様に伝えきれていない児童の様子、ご自宅では見られない様子をより詳しくお伝えしていく事でより成長が感じられるようにします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・入職から日が浅い職員もおり、ご家族、学校対応が不慣れな点もあります。	・職員みんなが保護者様などの面識が持てるよう機会を設け、対応に慣れるようにしていきます。	・対応方法の共有、知識の共有、情報をどんどん発信していくなどの職員も自信を持って対応出来るようにしていきます。
2	・学習支援の要望もありますが、運動活動がメインになっており子どもの自主性に任せる部分もあります。また6時間授業での通所になると時間をとることも難しいです。	・子ども達の中で、ごーでんえっぐは運動する場というのが定着されている事もあると思います。	・保護者様と児童の両方の要望と組み込み、長期休みや早下校の際にはプログラムの中に学習時間を設ける等して習慣づけていければいいと思います。
3	・受け入れ人数の上限でキャンセル待ちをされている方もいらっしゃいます。	・早期療育の大切さ、必要とされている方から支援させていただけるように周知活動を行っています。	・休みがちな児童や予定変更しがちな方には継続して通所すべき意味やデイに通所する必要性をお伝えしていきます。その上で、必要な方が通所出来る環境を整えていきます。